

オーエススクリーン Pセレクション、Tセレクションの 生地交換についてのお知らせ。



編集・発行：株式会社オーエス マーケティング課

2017年5月11日発行

お客様へのお役立ち情報、
トピック等をお知らせする **NO.11**
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

Pセレクション、Tセレクションの大きな特長の一つが「生地交換」です。カートリッジ式巻取りローラー採用のため、生地交換がとても簡単にできるように設計されています。

永年のご愛用をいただいておりますスクリーンの経年劣化を含め、一度、スクリーンの状態のご確認をお勧めいたします。

このような場合・・・スクリーンの交換が必要です。

各種のアスペクトで観る事が多くなり、マスク無しにしたい。

指示棒（機材）をぶつけて傷が出来てしまった。

映像の進化に合わせて、スクリーンも4K対応にしたい。

煙草の煙で表面が黄ばんでしまっている。

スピーカーを増設するためサウンドスクリーンにしたい。

巻き取るときに止まっている虫を巻き込んだ跡の汚れが取れない。

誤ってスクリーン面に書き込みをしてしまった。

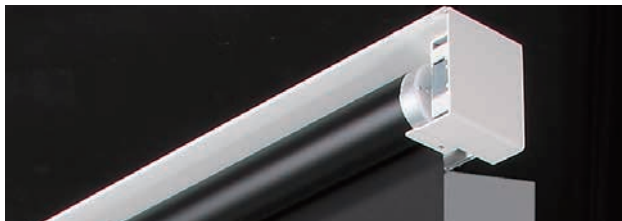
4:3の画面比をパソコンに合わせ、16:9に変更したい。

体育館で練習中の生徒のボールがぶつかって、大きなシワが出来てしまった。

プロジェクターを変えたので、生地特性も変えたい。

← バドミントンの羽の巻き込み跡（実例）

生地交換をすることにより、スクリーンに投写された映像は見違えるように美しくなります。
また、処理にお困りの古い巻取りパイプは、責任を持ってお引き取りをし環境に配慮し処分いたします。



交換可能なスクリーン生地

ホワイトスクリーン (拡散型スクリーン)

WG103

■5°ゲイン0.9±10%
■ハーフゲイン角60°以上

最も一般的なホワイト。平面性に優れ多方面に適応するスクリーン。

◎防炎品

ビーズスクリーン (回帰型スクリーン)

BU201 ウルトラビーズ・プレミアムホワイト

■5°ゲイン2.7±10%
■ハーフゲイン角17°±5%

約20ミクロンの微細な光学ガラス球を使用。高いゲインを実現。

◎防炎品

ビーズスクリーン (回帰型スクリーン)

BU202 ウルトラビーズ・プレミアムグレー

■5°ゲイン1.5±10%
■ハーフゲイン角16°±5%

BU201にグレー塗料の表面処理をし、締まりのある画像再現を実現。

◎防炎品

※ウルトラビーズは、オーエスの登録商標です。

エコスクリーン (拡散型スクリーン) ESeco

ESeco

■5°ゲイン0.73±10%
■ハーフゲイン角60°以上

ケミカルリサイクル繊維を51%利用。幕面は光を均一に拡散。フラットな光学特性を実現。

◎防炎品

サウンドスクリーン

WS103は130型以上の大型専用生地です。

WS102 WS103 SOUNDMAT

■5°ゲイン0.7±10%
■ハーフゲイン角60°以上

拡散型の均一な画面と、高音域も優れた音響透過特性を両立させました。

◎防炎品

ピュアマットⅢシネマ (拡散型スクリーン)

WF302 ピュアマットⅢCinema

■3°ゲイン1.0±10%
■ハーフゲイン角16°±5%

モアレを防ぎ、高精細な映像を忠実に再現する4K対応スクリーン。

パネル有 SEP(電動) SMP(手動)



パネル無し SET (電動) SMT (手動)



●生地によりサイズに制限があります。●また生地交換は必ず取付の専門知識を持った方にお任せください。思わぬ事故につながります。●詳しくはお問い合わせください。

乾坤一擲

011

代表
奥村正之

株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表 奥村正之が歩みを振り返ります。「けんこんいっぺき」で何が語られるか、お楽しみください。

仕事を覚えたくともままならない状況を、社長である父親に説明するのですが、なかなか現場の姿を変えられないで困っていたようです。

当時はバブルの絶頂、わざわざ営業しなくてもお客様からの電話を受けるだけでご注文いただける会社だったので、その日暮らしても売上げも利益も十分すぎるほど上がっていたようです。

このような状況ですから、大沢商会で教わった基本になる仕事の進め方を意見しても「わざわざ余計な仕事を増やす必要もなく、儲かっているので問題ないでしょ」

「何が問題なの？」というムードが社内に蔓延してしまいました。

このような背景で私のような小僧がいろいろと意見具申することが先輩社員の皆さんには面倒だと感じたようです。

その後わかった話ですが、当時の取り巻きの上席役員が社長に「社内に波風を立てないように」とのことです。そんなこともあって私は職場に全く馴染まず、仕事も覚えられずに前職の大沢商会での楽しい日々を思い起こし社長に「やめたい」と繰り返す日々を送ってしまいました。しかし、当時の社内は統制がとれず内紛やいざこざ、役員の間には派閥や部門間による勢力争いなどが見受けられ、このままではいけないとそのうち考えるようになりまし

た。

それで、まず仕事を理解するために製品を覚えなければならぬと思い、生産工場である子会社(オーエス工業 現 オースエム)に行かせてほしいと社長にお願いしたのです。

しかし、またもや取り巻きの上席役員からの反対があった。なかなか行かせてもらえませんでした。

しかし、なんとか理由をつけて強引に研修という名目で1〜2ヶ月くらいの期間行くことを許されたのです。

当時は大阪府枚方市に工場がありましたので、毎日車通勤をさせていただきました。

車通勤をさせてもらったのは、当時私の住んでいる近くに当時の副工場長が住まわれていたので、その車に乗せていただく通勤することが出来たのです。

この通勤途上の副工場長との会話で実は救われました。仕事に対する考え方が、今まで大沢商会でやってきたこと、教わってきたことと同様の考え方だったからでした。

(続く)

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。